

あい愛  
ひろば

# 桐生市社協だより

Vol.50

2016.2.1 発行

発行／社会福祉法人 桐生市社会福祉協議会

〒376-0006 桐生市新宿3-3-19

TEL.0277-46-4165 FAX.0277-46-4166

ホームページ <http://kiryu-csw.net>



介護職員初任者研修 修了しました

## 主な内容

- 2……地区別懇談会
- 3……地域福祉活動研修会
- 4……高齢者福祉施設 元気おりおり体操 子育てサロン
- 5……点字図書館 ふれあい花いっぱい事業
- 6……総合福祉センター アンケート結果
- 7……赤い羽根共同募金 善意銀行 福祉車両貸出事業
- 8……高齢者くらしの法律相談 社協結婚相談 婚活イベント  
高齢者介護サポーター

17人の受講生が講義、演習、実習134時間を修了し、筆記試験に合格しました。受講生からは「これでみんなとはお別れになってしまい悲しいけれど、頑張っていきたい」と、9月から行われた長丁場の研修を共にした仲間ならではの頼もしい声を聞くことができました。

## 第1回

# 地区別懇談会の結果をお知らせします

## 地域福祉係

### 開催状況

社会福祉協議会（以下、社協）の主催により、8つの日常生活圏域※1ごとに開催しました。なお、第5圏域については、行政区ごとに開催しました。

### 参加者

自治会役員、民生委員児童委員、各種団体、地域包括支援センター、市役所（長寿支援課及び健康づくり課）

### 参加人数

427人

### 内容

平成27年度から31年度を計画期間とする第2次地域福祉計画及び地域福祉活動計画※2を周知、啓発するとともに、地域福祉課題の把握、住民の



地区別懇談会の様子

地域福祉活動への参加促進を図るため開催しました。

また、地域包括ケアシステム※3の構築に向けて、「高齢者福祉」をテーマとして、市役所、地域包括支援センターと連携して開催しました。

①第2次地域福祉計画及び地域福祉活動計画について（社協）

②まちぐるみの支え合いの仕組みづくりについて（長寿支援課）

③各種検診状況について（健康づくり課）

④小グループによる討論

行政区ごとにグループを編成し、日常生活圏域ごとに作成した社会資源一覧表を参考に、高齢になっても地域で生活するために必要な社会資源※4の充足状況や地域福祉課題について協議しました。

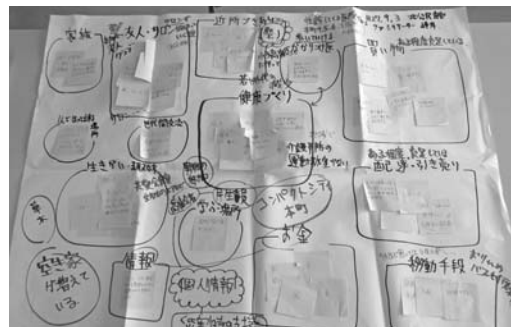
### 充足している社会資源としてあげられた項目

#### ① 買い物

・大型スーパー、個人商店、引き売り、スーパー等の配達が、地域によってある程度充足している。

#### ② サロン

・地域により頻度や対象は異なるが、近隣住民の交流や地域の支え合いの機運が高まっている。



地域の社会資源を出し合いました

・大型スーパーの飲食スペースが集いの場となっている。

③ 医療

・総合病院や個人医院があり、往診ができる医院もある。

④ 健康・介護予防

・各種サロンで「元気おろり体操」など、介護予防が普及している。

⑤ 交通

・おりひめバス、介護タクシー等がある。

⑥ その他

・住民相互の助け合いの仕組みである見守り活動やゴミ出し支援などの生活支援サービスが行われ、災害時の支援を目的とした自主防災会が組織されている。

### 充足していない社会資源や地域福祉課題

① 交通

・おりひめバスの運行本数が少なく不便である。

・高齢になり車の運転が出来なくなると、生活全般に課題が発生する。

・旧桐生市内においてはデマンド交通サービスの創設、新里及び黒保根地域においては巡回範囲の拡充を求めている。

② 買い物

・引き売りの業者が少なく、取り扱い品目も不十分であり、業者の情報が行き渡っていない。

③ サロン

・買い物支援ボランティアの仕組みを求めている。

④ 実施している頻度が少なく、集会所など歩いていける範囲での実施がないなど課題がある。

・参加者の固定化や男性の参加が少ない。

④ 生活支援サービス

・電球の取り替えやゴミ捨てなど介護保険以外のサービスを請け負う、便利屋の様な事業者がない。

・見守り活動の拡充を求めている。

・生活支援サービスの担い手として期待されるボランティア組織の高齢化や、若年層の参加が少なく、地域活動の維持が難しい。

⑤情報

● 福祉情報のPRが不足しており、各種社会資源情報の整理や一覧表の配付を求めている。

● 災害時における住民相互の支援体制構築のために、必要な範囲で情報を共有する必要がある。

※ 充足している社会資源と充足していない社会資源が同じ項目で挙がっていることについては、同じ地域内でも住む場所によって差があることや、個々の体調や状況に違いがあることが理由であると考えます。

■ 社協としての今後の取り組み

地区別懇談会の開催結果を社協内部、日常生活圏域で実施されている会議で検討し、第2回地区別懇談会で、解決方法について住民の意見を伺います。また、地域の高齢者サロンの頻度や身近な場所での開催など充実していきます。

※1 日常生活圏域

概ね30分以内に必要なサービスが提供される範囲のことです。具体的なイメージは中学校区になります。

※2 地域福祉活動計画

誰もがその地域で、いきいきと自立した生活を送れるよう、共に支え合う社会づくりを目指して社協が作成するものです。社協が中核的役割を担い、地域住民、社会福祉活動に関する活動を行う者（個人・グループ・団体）、社会福祉を目的とする事業（福祉サービス）を経営する者などと協力し、民間側からのまちづくりを進めるための活動及び行動の計画のことです。

※3 地域包括ケアシステム

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度の介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組みのことです。地域包括ケアシステムは日常生活圏域を単位として想定されています。

※4 社会資源

人々の生活の問題解決の目的に使われる各種の施設、制度、機関、知識や技術などの物的、人的資源の総称。具体的には、公的機関、社協、病院、家族、友人、近隣住民、ボランティアなどです。

地域福祉活動研修会を開催しました

10月23日に市民文化会館において桐生市との共催により、地域包括ケアシステムについて学ぶ地域福祉活動研修会（まちぐるみの支え合い、今こそ見せよう、桐生の底力）を開催し、約150人が参加しました。

当日は、群馬県社会福祉協議会地域福祉課長 中越信一氏から、地域を取り巻く状況や課題についての説明を受けた後、まちぐるみの支え合いの仕組みづくりには、地域の



群馬県社協中越氏の講演の様子



中島氏、松井氏による実践発表

福祉力を付けることが必要との説明を受けました。

地域の福祉力を高めるためには以下の3つの場が必要であり、地域に住む住民一人一人が主役となることが、地域福祉の推進には欠かせません。

- ① 住民同士が多様な福祉、生活課題を互いに理解するための「出合いの場」
- ② 専門職や住民、関係団体などが参加し、活動を行う「協働の場」
- ③ 地域福祉活動を振り返り、見直す「協議の場」

その後、住民が主体となり



梅田町4丁目町会の介護予防サロン

介護予防サロンの立ち上げに携わった梅田町4丁目の中島主子氏と、広沢町間の島第1町会で住民の助け合いによる見守り活動をしている松井隆氏が、それぞれ活動のきっかけや活動継続のポイントについて発表しました。

参加者からは、「非常に分かりやすい説明だった。」「このような研修会を定期的に開催して欲しい。」「実際にサロン活動をしている地域の方の話が聞けて大変参考になった。サロン開催に向けてのイメージが出来た。自分の町内でも、サロン活動を通じて、助け合いの仕組みが出来れば良いと感じた。」等の感想が聞かれました。



# 高齢者福祉施設で 健康づくり・仲間づくりをしませんか

## 在宅福祉係

社会福祉協議会（以下、社協）では、高齢者の健康や生きがいづくり、社会参加の促進のため、高齢者福祉施設を運営しています。ぜひご利用ください。

### ■市内在住者の利用料

65歳以上の人 1000円  
60～64歳の人 2000円  
60歳未満の介添人 2000円

ただし、新里福祉センター

## 高齢者福祉施設一覧

施設名	所在地	電話番号	休館日
美原長寿センター	美原町5-47	43-4002	土・日曜日、祝日、年末年始
川内長寿センター	川内町5-398-1	65-5801	土・日曜日、祝日、年末年始
境野長寿センター	境野町3-1295-1	46-5578	土・日曜日、祝日、年末年始
東長寿センター	東1-8-41	47-5712	土・日曜日、祝日、年末年始
広沢老人憩の家	広沢町6-1103-1	54-0881	水曜日、祝日、年末年始
ふれあいホーム	天神町3-14-16	44-9145	月曜日、祝日、年末年始
新里福祉センター	新里町野397	74-0090	月曜日、年末年始
黒保根老人休養センター	黒保根町下田沢3117	96-2200	土・日曜日、祝日、年末年始



東長寿センターの様子

## 元気おりおり体操

高齢化が進む桐生市では、今後も介護が必要な高齢者の増加が見込まれています。介護予防サポーターや各会場の職員がサポートしますので、

お気軽にご参加ください。

〜いつまでも元気で、いきいきと暮らすために〜

### 地域福祉係

**■内容**  
元気おりおり体操は、介護が必要な状態にならないように、桐生市が作成した介護予防体操です。桐生市歌に合わせた体操を続けることで、筋力向上に役立ちます。

- 美原長寿センター  
毎週火曜日  
午後2時30分～3時
- 川内長寿センター  
毎週月曜日  
午後1時30分～2時
- 境野長寿センター  
毎週水曜日  
午後2時～2時30分
- 東長寿センター  
毎週金曜日  
午後2時30分～3時
- 広沢老人憩の家  
毎月第2・4木曜日  
午前11時～11時30分
- 新里福祉センター  
毎月第4水曜日  
午前9時～9時30分

- 会場  
総合福祉センター2階  
多目的室
- 対象者  
子どもとその保護者
- 参加費 無料
- 申込方法 直接会場へお越しください。

新里福祉センターは清掃センターの整備点検に伴い、2月3日（水）～22日（月）まで休館となります。

お風呂、カラオケ、大広間、囲碁将棋など

### ■その他



美原長寿センター外観

# 子育てサロン紹介

## 地域福祉係



こそだて子屋の様子

社協では、子育て世代が互いに支え合える仲間づくりや、リラクセスできる居場所づくりを目的に、桐生市民生委員児童委員協議会と子育てサロンを実施しています。また、地域で児童に関する相談の「主任児童委員」が育児相談に当たります。

- 会場  
新里総合センター2階  
児童・子育て室
- 対象者  
子どもとその保護者
- 参加費 無料
- 申込方法 直接会場へお越しください。